



漣 祐子さん
熊本県南小国町
ふもと旅館



全旅連・女性経営者の会
リレーコラム
Vol.171

北海道・湯宿だいいちの長谷川志乃さんよりバトンを受け取りました。黒川温泉・ふもと旅館の漣祐子と申します。生まれ育つたこの土地で4人の子どもたちを育てながら、家族とともに旅館業に携わっております。

雄大な熊本阿蘇の奥座敷に位置する里山の温泉地黒川温泉は、旅館30軒・オーナー25名が加盟しており、その

ほとんどが20室以下の小さな旅館です。黒川温泉名物である旅館の露天風呂を3カ所めぐることのできる「入湯手形」は今年で38年目を迎えます。

四季折々の自然を感じる温泉宿の露天風呂を体験することは、裸でお風呂につかる文化のない海外のお客様に

も好評です。またその背景にある環境保全を考えた黒川温泉の地域資源に対する考え方もお客様の共感を得て、楽しんでいただいているようです。

2020年、私たちは黒川温泉旅館組合設立60周年にあわせて「2030年ビジョン」を掲げ、黒川温泉はどこに向かうのか、何を大切にしているのか、お客様にとつてどのような場所でありたいのか、全体で認識を共有するビジョン設定をし、「黒川温泉一旅館」のスローガンのもとで邁進しております。

私は今年度より黒川温泉旅館協同組合にて研修部を担当しております。日々、黒川温泉の人材課題についてオーナーたちで話し合

い、いかに働く人にとって魅力的な場所を作れるか、人として成長

できる環境を作れるのかを考え研修事業をはじめとする様々な活動に地域一体となって取り組んでおります。

なかでも次世代リーダープログラム「黒川塾」では、旅館の仕事にとどまらない学びの機会を設け、宿の未来を担うリーダーを育成し研修を通して自分のキャリアを考える時間を作っています。地域を担う人材への成長を願うこの研修は今年で4期目となりました。

こういった人材育成において経営者の学びや伴走の姿勢は非常に重

要で、私たちもたくさん学びの機会を得ることができています。

地域は、宿は、人です。この土地で縁ができるお客様や、同じ時間を過ごす仲間、われわれの産業を支えてくださる地元産業の皆様といった地域に携わるすべての人々の笑顔と幸せにつながるよう。「世界に誇る里山の温泉地」を目指して頑張っていきたいと思

います。

ぜひ、ご縁を紡ぎに黒川温泉にあそびにいらしてください。

次は、神奈川県湯河原温泉ホテルあかね西山侘花さんにバトンを渡します。

「世界に誇る里山の温泉地」目指す

次は、神奈川県湯河原温泉ホテルあかね西山侘花さんにバトンを渡します。